

## 「みんなの絵本ボックス」使用までの流れ

### ■ 「みんなの絵本ボックス」とは

「Re-labeling プロジェクト」\* 第二弾の取り組みとして発表した「みんなの絵本ボックス」は、こども食堂と周辺地域を「読み終わった絵本」でつなぐ、交流のきっかけづくりを目的とした、こども食堂運営者向けのダウンロードキットです。任意のサイズに印刷した「みんなの絵本ボックス」サインを、お手持ちの空き箱などに貼り付けるだけで、「地域住民や子どもたちに向けて地域の読み終わった絵本を集め、絵本を持って帰ることができる箱」にすることができ、地域住民がこども食堂に関わるきっかけを提供することができます。

新型コロナウイルス感染症の影響でこども食堂の運営に関わる人数を限って運営している地域の方がこども食堂と関わることを促すきっかけとして制作されました。

### ■ 「みんなの絵本ボックス」の使い方

地域の方や、こども食堂にやってきた子どもたちは、「みんなの絵本ボックス」に読み終わった絵本を置いて行ったり、気になる絵本を「みんなの絵本ボックス」から持って帰ることが出来ます。使い方は、地域の方の目に触れやすいこども食堂の軒先や、こども食堂の中に「みんなの絵本ボックス」を設置するだけです。

「みんなの絵本ボックス」は、「通常版」と「blank版」の2種類を用意しています。通常版は、「読み終わった絵本を置いて行ったり、気になる絵本を持って帰ることができます」「地域のどなたでもご利用いただけます」というルールがデザインされているおり、印刷して箱に貼り付ければすぐに使うことができます。「blank版」は、こども食堂の運営に合わせてルールを自由に設定することができるものです。例えば、「絵本を回収しています」のみ記載をして、地域の人から「絵本を集める」という目的でみんなの絵本ボックスを使用することもできます。



## ■「みんなの絵本ボックス」の作り方

- ①「みんなの絵本ボックス」のPDFデータをダウンロード  
「みんなの絵本ボックス（通常版）」（PDF）  
「みんなの絵本ボックス（blank版）」（PDF）
- ②好きなサイズに印刷する（推奨サイズ：A3）
- ③お手持ちの箱に貼り付ける
- ④地域の方の目に触れる場所に設置してみましょう

### 【設置例】

箱の正面に貼る、段差などを利用してサインを吊り下げる、箱の背面に段ボールなどを設置してサインを箱の上部に掲げるなど、アイデア次第で様々なサインの設置の仕方があります。



### \*Re-labeling プロジェクトとは

「Re-labeling プロジェクト」は、認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえとFacebook Japanが共同で2021年9月に立ち上げたプロジェクトです。「こども食堂は貧しい子どもだけが行く場所だ」という誤ったラベル（イメージ）をはがし、「こども食堂は食事を含む様々な体験を通して全ての子どもに『人としての豊かさ』を提供できる場所」「こども食堂は子どもたちだけではなく、多世代が集まる地域の交流拠点」といった、こども食堂の正しいイメージを広げるきっかけを作ることを目的としています。

# Re-labelingプロジェクト



FACEBOOK  
f m i s



Re-labeling プロジェクトについて、詳しくは[こちら](#)からご覧いただけます。